

指定管理者制度導入施設 モニタリングチェックシート

(平成27年度 上半期(4月～9月) の管理運営状況)
年間(4月～3月)

施設名	開戸センター	指定管理者	医療法人財団 暁
指定期間	平成25年4月1日から 平成30年3月31日まで	担当課	高齢者支援課

1 業務の遂行状況及び収支の状況

分類		年間計画 (A)	実績 (B) (モニタリング時)	対計画比率 (B/A×100)
開館日数 (日)		244	264	108.2%
延べ利用者数 (人)		4,000	3,119	78.0%
自主事業	実施回数 (回)	10	235	2350.0%
	利用者数 (人)	112	2,125	1897.3%
収入	指定管理料 (円)	13,160,000	13,160,000	100.0%
	利用料金収入 (円)	3,400,000	2,718,500	80.0%
	自主事業収入 (円)	696,000	1,250,400	179.7%
収入計 (円)		17,256,000	17,128,900	99.3%
支出	人件費 (円)	10,274,000	11,688,111	113.8%
	維持管理経費 (円)	6,286,000	4,235,592	67.4%
	自主事業関係経費 (円)	2,661,093	1,149,050	43.2%
	その他の支出 (円)	0	0	0.0%
支出計 (円)		19,221,093	17,072,753	88.8%
収支 (収入－支出) (円)		△ 1,965,093	56,147	

指定管理者の自己評価 (改善点、その他特記事項)		
【開館日数・利用者数について】 開館日数はおおむね計画通りである。通所利用者数も増減はあるものの増加傾向にあり、自主事業の利用者数も計画を大幅に上回ることができた。	【事業の実施状況について】 計画通り事業を実施しており、活動内容の改善やニーズにあった事業を展開している。自主事業も地域の人材を活用した新講座の立ち上げとともに市民に喜ばれる事業展開を行って行きたい。	【収支状況について】 通所事業の収支は良好である。自主事業においては、昨年度より利用者のニーズにあった企画を実施し、収支状況は上向き傾向にある。今後もさらに収支のバランスに努めていきたい。
所管課の評価 (指摘事項)		
【開館日数・利用者数について】 計画通り開館されている。通所事業利用者数は昨年と比べ増加しており、利用者増のための改善が見られた。今後も引き続き利用者増のための取組が必要である。	【事業の実施状況について】 利用者のニーズに合わせた活動が実施できている。自主事業については、地域の人材を活かした事業が展開されている。	【収支状況について】 通所事業及び自主事業の収支状況は良好である。今後も収支バランスに留意していく必要がある。

2 チェック項目

評価項目・評価事項 (数値目標)	確認資料等	指定管理者の自己評価	所管課の評価	
受付等の業務	施設の利用許可等を条例に従い適切に行っている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	○適正・要改善	○適正・要改善
	使用料、利用料金の徴収、減免を適切に行っている	日報、月報、申請書	○適正・要改善	○適正・要改善
施設・設備の維持管理	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っている	各種点検結果報告書、実地	○適正・要改善	○適正・要改善
	衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に行っている	日報、月報、実地	○適正・要改善	○適正・要改善

	備品等を適切に保管・管理している	備品台帳、実地	○適正・要改善	□適正・要改善	
	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負わせていない	実地	○適正・要改善	□適正・要改善	
安全性への配慮	安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュアルが整備され、また、職員等に対する指導訓練が適切であり、市への通報体制が整っている	危機管理マニュアル	○適正・要改善	□適正・要改善	
	避難経路の確保、事故防止策や防犯等の警備業務など利用者への安全対策が講じられている	実地	○適正・要改善	□適正・要改善	
	損害保険等の必要な保険に加入している	保険証書	○適正・要改善	□適正・要改善	
透明性・公平性	ホームページ等により施設の情報の公開に努めている	ホームページ	○適正・要改善	□適正・要改善	
	情報公開に対する体制を整備している	情報公開マニュアル	○適正・要改善	□適正・要改善	
	利用者の平等な利用が確保されている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	○適正・要改善	□適正・要改善	
効果的・効率的な運営	苦情や利用者アンケートによる意見、要望等を管理運営に反映している	利用者アンケート	○適正・要改善	□適正・要改善	
	施設の利用者拡大の取組を行っている	日報、月報、事業報告書	○適正・要改善	□適正・要改善	
	経費削減のための取組を行っている	日報、月報、事業報告書	○適正・要改善	□適正・要改善	
	広報紙、チラシ、ホームページなどにより積極的に事業等を周知している	広報紙、チラシ、ホームページ	○適正・要改善	□適正・要改善	
人員配置・人材育成等	事業計画書どおりの人員を配置している	5人	人員配置計画、実地、出勤簿	8人 ○適正・要改善	□適正・要改善
	事業計画書どおりの職員の指導育成や研修を行っている	12回/年	研修マニュアル	実施回数12回 ○適正・要改善	□適正・要改善
	労働法令の遵守や労働条件への適切な配慮がなされている		実地、出勤簿	○適正・要改善	□適正・要改善
個人情報の保護	個人情報保護のための取組を行っている		個人情報保護マニュアル	○適正・要改善	□適正・要改善
	文書管理を適切に行っている		保存文書	○適正・要改善	□適正・要改善
自主事業の取組	自主事業の実施により、市民サービスの向上に努めている		事業報告書、日報、月報、実地	○適正・要改善	□適正・要改善
環境への配慮	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ゴミの減量など、環境への配慮に取り組んでいる		日報、月報、実地	○適正・要改善	□適正・要改善

※評価基準

「適正」：その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」：その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

3 上記1、2の評価に関する所見

指定管理者による所見（改善点、その他特記事項）	<p>通所事業については、順調に運営できました。退所者の補充など新規入所者獲得のため、センターのPR活動や通所事業の啓発活動を強化するとともに、通所者の心身機能の維持・向上及び自立生活援助の場としてその充実に努めました。一方、自主事業については、げんき応援事業と称して、「広報あきる野」への掲載やセンター内でのポスター掲示による募集により、多数の参加者を得ることができました。今後も利用者のニーズにあったプログラムを開拓し、更にこの事業の拡大に努め、市民の皆様喜んで頂けるセンターを目指していきます。</p>
市による所見（指摘事項など）	<p>通所事業、自主事業ともに、利用者数増のための工夫や新たな取組が見られました。地域の人材を活かした事業が実施できており、地域の中での知名度や役割が少しずつ理解されてきたと評価できます。</p> <p>今後も啓発・広報活動を継続するとともに、収支バランスの適正に努めるようお願いいたします。</p>